

**行使価額修正条項付第19回新株予約権の発行  
及び第三者割当て契約  
(Qualified Institutional Placement「QIP」)  
の締結に関する補足説明**

カルナバイオサイエンス株式会社

2021年7月18日

# 第19回新株予約権の特徴と期待される効果



特徴	1	海外機関投資家への売却	割当予定先（Cantor Fitzgerald & Co.）は、本新株予約権の行使により交付される当社普通株式について、一定期間保有する意向を有する海外機関投資家に対して市場外で売却していくことを第三者割当て契約で約しています
	2	市場売却の原則禁止	割当予定先は、本新株予約権の行使により交付される当社普通株式を、当社による事前の書面承諾なく取引所金融商品市場で売却できないこととしています  (当社が取引所金融商品市場での売却を承諾する場合、都度適時開示いたします)
期待される効果	※割当予定先・・・新株予約権の引受先を指します。その権利行使により、当該普通株式を取得することとなります		
	1	株価への影響軽減	資金調達を実現しながらも、株価への影響を軽減又は漸次的なものとする事で株価への悪影響抑制を目指します
	2	株主価値向上のための投資家層の多様性拡大	a. 海外機関投資家による当社への投資が期待できます b. グローバル市場における当社のプレゼンス向上が期待できます

# 第19回新株予約権による調達資金の使途



## 開発化合物の臨床試験 実施費用 (2,211百万円)

1

BTK阻害剤AS-0871の欧州におけるフェーズ 1 試験（反復投与用量漸増試験）

2

BTK阻害剤AS-1763の米国における慢性リンパ性白血病及びB細胞リンパ腫患者を対象としたフェーズ 1 b試験

3

CDC7阻害剤AS-0141の日本国内における固形がん患者を対象としたフェーズ 1 試験

## 新規パイプラインの 創製及び導入 (1,388百万円)

1

探索段階にある創薬パイプラインを前臨床試験段階にステージアップさせるための研究費用

2

ステージアップ後の前臨床試験費用

3

新規パイプラインの導入、共同研究に係る費用等

合計  
(3,599百万円)

※調達資金額は本新株予約権の当初行使価額（1,449円）をもとに算出した想定調達金額

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。  
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。  
将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。  
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただくものです。



カルナ《CARNA》は、ローマ神話に登場する人間の健康を守る女神で、cardiac（心臓）の語源とも言われています。バイオサイエンス《BIOSCIENCES》は、生物学（Biology）と生命科学（Life Science）から、つくられた言葉です。「生命科学の世紀」とも言われる21世紀の初めに、カルナバイオサイエンス社とともに新しい女神“カルナ”が誕生しました。

## カルナバイオサイエンス株式会社

経営管理本部 経営企画部

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-5 BMA3F

<https://www.carnabio.com/>

ir-team@carnabio.com